

(2) 展示技術の開発・実践および交流人口の拡大

1	実証講座名	海洋高校飼育魚類の展示 高校生水族館ガイドツアー 道の駅 出前水族館（蘇れマリンミュージアム能生） さばけ アンコウ・ガール（どずこい アンコウ・力士）
2	連携先	榎横浜八景島（八景島シーパラダイス）
3	実施日時	平成28年11月11日（金） 9:30～10:30（1コマ相当）
4	実施場所	八景島シーパラダイス
5	受講者	資源育成コース2年 食品科学コース2年
6	受講人数	資源育成コース18名 食品科学コース17名 計35名
7	授業科目名	研修旅行
8	実施の概要	体験型展示方法の学習 * 2学年部との協働による実施
9	効果およびねらい	国内屈指の水族館の最新の展示方法を体験することにより、魅力的な展示方法について考察する
10	実施内容	体験型展示コーナーの体験、従来の水族館の見学
11	講座の内容	<p>1 来場者増加に向けた水族館の取り組みの説明</p> <p>2 うみファームの体験</p> <p>（1）班分け 2班に分かれて、それぞれに係員が1名ついた。</p> <p>（2）体験</p> <p>① エリアの説明 このエリアは浮島でできており、海水を取り入れていた。タイヤブリなどの魚が育てられていた。</p> <p>② ピックアップ水槽体験 係員の方がハキハキと元気よく、魚の説明をしたり、指示を出したりしていた。説明がわかりやすく、質問にも淀みなく答えてくれたところから魚についての知識が豊富であると感じられた。 滑りやすそうなところでは注意を促したり、魚に触れさせた後には素早く消毒やタオルを差し出したりするなど、さりげない配慮がたくさんあった。</p>

写真1
魚の説明をする係員



③ 餌やり体験

餌の投げ方を教わり、ブリに小アジを与えた。ブリが水面で元気よく跳ねると、自然と歓声があがり、笑顔になった。

写真2
餌を与える生徒



3 アクアミュージアムの見学

充実した魚体数と計算された魅せる展示に、生徒たちは大いに感銘を受けていた。

12 効果の検証
および課題

よりよい展示方法についてのレポートをまとめさせる。